



奈良女子大学メールマガジン290号より

研究紹介集のデータのご提供をいただきありがとうございました。3月末日までは完成いたしますので必要部数をご連絡くださればお渡しさせていただきます。

1. JST「知財活用促進ハイウェイ」事業締切迫る(3/22)

科学技術振興機構（JST）は、平成23年度（2011年度）から新しく始める、「未利用特許」の技術移転促進を図る「知財活用促進ハイウェイ」の応募の受付を、2011年2月21日から始めており、締切日は、3月22日正午です。認知度がまだ高くなく、採択倍率が低倍となるかもとの情報があります。

知財活用促進ハイウェイは、大学や公的研究機関などが保有する特許の中で、実施権ライセンスなどの技術移転が実施されていない未利用特許の利用促進を加速させる目的で、JSTが投資機関などと連携する新制度である。具体的には、大学や公的研究機関等が保有する未利用特許の価値を向上させ、技術移転を受ける企業などが、当該の未利用特許を利用することを促進させるために、**試験研究費(200～300万円)と技術移転調査費(50万円程度)をあわせて必要とする課題(未利用特許)を募集する制度**です。

<http://www.jst.go.jp/chizai/gyomu4-1.html>

申請に必要な項目

- I. 課題の概要(300字以内)
 - 課題の技術分野(選択方式)
 - 試験研究実施責任者(試験研究を実施する責任者)
 - 技術移転調査実施責任者(技術移転調査を実施する責任者)*注1、注2
 - 対象特許
- II. 開発技術の優位性
- III. 技術の市場性と将来性
- IV. 試験研究の目的・必要性
- V. 試験研究の方法・手段
- VI. 試験研究の目標
- VII. 試験研究中・終了後の技術移転調査の方法・手段
- VIII. 必要経費
- IX. スケジュール
- X. 参加者リスト

注1：技術移転調査費の申請がない場合でも、「技術移転調査実施責任者」の指定が必要です(但し、契約は試験研究費に関してのみ行います)。また、技術移転に関する計画は必須ですので、申請書に必ず記載してください。
注2：申請者(課題代表者)が「試験研究実施責任者」、あるいは「技術移転調査実施責任者」と同一であることは可能ですが、「試験研究実施責任者」が「技術移転調査実施責任者」を兼ねることはできませんのでご注意ください。

2. JST「研究成果最適展開支援プログラムA-STEP」事業締切迫る(3/21)

		フィジビリティスタディ(FS)			本格研究開発						
支援タイプ		探索	シーズ顕在化	起業検証	起業挑戦	若手起業家	ハイリスク挑戦	シーズ育成	中小・ベンチャー開発	創業開発	委託開発
申請者の要件 (共同申請/連名申請)		研究者 ^{#1} コーディネータ等 ^{#2} 企業の研究開発関係者の協力がある場合は研究者 ^{#1}	研究者 ^{#1} 企業	研究者 ^{#1} 側面支援機関 ^{#3}	研究者 ^{#1} 起業家 ^{#2} 側面支援機関 ^{#3}	研究者 ^{#1} 起業支援組織 ^{#4}	研究者 ^{#1} 企業	研究者 ^{#1} 企業	企業 (研究者 ^{#1})	企業 (研究者 ^{#1})	企業 (研究者 ^{#1})
研究開発規模	基準額 (上限額) 間接経費込	基準額 170万円 (～300万円)	基準額 800万円 (～1000万円)	1億5000万円 (総額)	4500万円 (総額)	2000万円 (総額)	JST支出総額 2億円 (企業負担を上限)	3億円 (総額)	10億円 (総額)	20億円 (総額)	
	開発期間 (原則・最長)	単年度	1年	3年	3年	2年	4年	5年	5年	7年	
開発費の性格		グラント	グラント	グラント	グラント	グラント	マッチング ファンド	売上げに応じて 実施料を納付		成功：開発費返済 不成功：90%返済免除 売上げに応じて実施料 を納付	

先月の推進レター vol45 でもご案内していますが A-STEP事業の締切が迫ってきました。e-Radでの申請に加え、事業化コメントの記入をコーディネータに依頼される場合にはコーディネータからの応募が必須となりますのでご注意ください。事業化コメントを企業の方に依頼される場合には研究者からの応募となります。

3. 奈良県企業支援補助金等説明会（3／29）

奈良県内の企業様とともに研究を進めておられる研究者の皆様へ、以下の奈良県企業支援補助金の説明会のご案内がきています。いくつかは、大学との共同研究費用も申請することが可能ですので、一度企業様とご相談されてください。

日時 : 平成23年3月29日(火) 13:00~16:30
場所 : 奈良県産学官共同研究拠点 研修室 (なら業活性化プラザ 西棟2F/奈良市柏木町129-1)
内容 : 奈良県補助金

- ・奈良発ニュービジネス発掘・育成補助金(新商品・新サービスの開発支援)
- ・リーディングカンパニー創出補助金(優良技術の向上支援)
- ・デザイ活用販路開拓支援事業(デザイン活用の新商品開発・販路開拓支援)
- ・企業立地促進補助金(企業立地、機能強化、人材確保支援)
- ・奈良ブランド製品開発等支援補助金(自社のブランド化に向けた取り組み等支援)
- ・産業廃棄物排出抑制事業費等(産業廃棄物の排出量削減・再生利用の支援)

※上記補助制度は平成23年度奈良県予算の成立により事業化されます。
説明会終了後、県の担当者が個別に事業計画の相談を受けます。

申込み : 奈良県産業支援課あて 申込先 FAX: 0742-27-4473
(申込期限: 平成23年3月24日)

4. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>
また本学に募集のあった共同研究の公募については
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(公)山村富美記念女性自然科学者研究助成基金

【学内締切】平成23年3月18日

【助成対象】自然科学(化学一般並びに化学に関連ある物理学及び生物学)の基礎的研究分野

【助成金額】200万円/年 2年以内。

【応募対象】博士の学位を取得している女性研究者(国籍を問わず)常勤職に就いていないこと(H23/4/1現在) 研究指導者の推薦書要

【問い合わせ】http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

(公)林女性自然科学者研究助成基金

【学内締切】平成23年3月18日

【助成対象】自然科学(化学一般並びに化学に関連ある物理学及び生物学)の基礎的研究分野

A:研究助成 B:研究奨励「林フェロー」助成

【助成金額】A:上限300万円/件(平成23年度) B:100万円/年(2年以内)

【応募対象】女性研究者(国籍を問わず) A:大学の教授及び教授と同等の職にある者は除く
B:博士課程に1年以上在学又は博士論文提出を目指している研究者
常勤職に就いていないこと(H23/4/1現在) 研究指導者の推薦書要

【問い合わせ】http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

(公財)日本生命財団

【公募時期】平成23年4月11日(消印)

【助成対象】人間活動と環境保全との調和に関する研究
A:学際的総合研究 B:個別研究 C:若手研究

【助成金額】A:1~2千万円/件 B:200万円程度 C:上限100万円

【応募対象】応募資格:C:37歳未満(S49/4/2以降生まれ) 学生、院生は応募不可 一般管理費助成対象外

【問い合わせ】http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/O2_gaiyo.html

(財)国土地理協会

【公募時期】平成23年4月1日~4月22日

【助成対象】地理学および関連する分野

【助成金額】上限100万円/件 研究期間は1年間

【応募対象】大学院博士後期課程修了、もしくは同等以上の能力と研究経験を有していること
大学院生応募可(指導教員が代表者となる)

【問い合わせ】<http://www.kokudo.or.jp/grant/index.html>

(財)ダム水源地環境整備センター

【公募時期】平成23年4月5日(消印)

【助成対象】既設のダム貯水池に係わる生態環境(上下流・周辺を含む)に関する研究。
研究分野としては、生態学、工学、及びそれらの学際的な分野

【助成金額】1件につき 単年度:上限100万円 2カ年度:総額上限150万円

【問い合わせ】<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

(財)日本食生活文化財団

【公募時期】平成23年4月15日(着)

【助成対象】食生活文化に関する調査研究で、未発表のもの

【助成金額】20~30万円 研究期間は平成23年度

【問い合わせ】申請書の電子ファイルはE-mailで請求のこと
nsbzaidan@yahoo.co.jp

5. 奈良女子大学メールマガジン

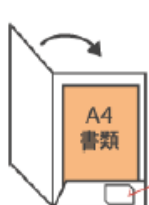
現在、総務・企画課のご協力のもと社会連携センター名で出しております「奈良女子大学メールマガジン」は、この3月11日(金)配信で291号を数えます。

広報的な記事(研究会情報や、卒業生動向など)や写真がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp または c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにお知らせください。

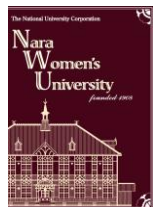
また、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにメールタイトルを「登録」として空メールを送信していただくと、登録させていただきます。研究室の学生さんなどにもご紹介してください。

6. お勧め備品

社会連携センターでは以下の備品を用意しています。ご連絡いただければ貸し出し、配布させていただきます。



↑全学仕様の紙ファイル。



↑手提げ紙袋



↑テーブルクロス
(薄桃・濃紺)



のぼり→
(両面仕様)

